MaaS連携高度化による移動のシームレス化の推進

国土交通省

背景・必要性・概要

- ■ これまでの取組により、全国各地で課題解決のためのMaaSの取組が進展・継続中。
- ■ 今後は、エリアや事業を超えた、よりシームレスで快適性・利便性の高い交通サービスの実現を目指すため、各地のMaaSの取組の連携、各地域内における交通事業者のみならず他分野の事業者の連携等の促進を図る。

MaaSの実装・連携

- **エリアや事業を超えたシームレスな移動を実現するMaaSの実装**
  - ➢ 広域での連携を目指す取組や、マイナンバーカードの活用等幅広い事業者の連携を可能とする取組を重点的に支援。
  - ➢ エリアや分野を跨いだ連携基盤の構築を目指し、必要な前提条件や要件・機能等を整理。

- **新モビリティサービス事業計画の策定、評価に取り組む事業者への支援**

九州における広域MaaS（同一PF/アプリ基盤の導入）

＜取組事例＞

左：九州全域において、同一PF・アプリ基盤を導入することで、シームレスなMaaSサービスを広域で提供。

右：前橋市において、マイナンバーカードと交通系ICカード連携による市民認証機能を実装し、公共交通の市民割引等を提供。

MaaS実装に不可欠な交通事業者のデジタル化等の促進

- **交通情報データ化、混雑情報提供システム導入支援**
  - ➢ 地域内・広域でのデータ連携を実現するため、デジタル化が進んでいない中小事業者等の底上げ
  - ➢ DXによる経営やサービスの効率化、高度化

- **ICカードやQRやタッチ決済、顔認証等の新たな決済手段の導入支援**
  - ➢ 決済データ蓄積によりサービスの高度化を可能にするとともに、キャッシュレスによるシームレスな移動の実現

- **AIオンデマンド交通の導入支援**
- **シェアサイクルや電動キックボード、グリーンスローモビリティ等の新しいモビリティの導入支援**
- **マイナンバーカード活用型交通サービス導入支援**

※赤字：今回の公募対象